

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	基幹水利ストックマネジメント事業			事業コード	2001
担当課等	所属名	農林部 農政課	担当係名		
	課長名	小原俊彦	担当者名	佐藤 祐史	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産基盤の整備	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 6款 1項 5目 農業基盤整備事業(003-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input checked="" type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒ (21年度 ~ 23年度)					
事務事業の概要	県営土地改良事業により造成された土地改良施設の長寿命化の観点に立つて的確な予防保全を実施し、維持管理の削減を図る。					
根拠法令等	基幹水利施設ストックマネジメント事業実施要綱及び要領					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
県営圃場整備事業太田地区で造成された小排水路は経年劣化によりコンクリート柵渠が至る場所で崩壊・閉塞しており機能低下が生じている。また、排水が流れないだけでなく、降雨時に周辺地域に水害を起こしている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
早期改善が望まれている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
排水路の機能が回復することにより、農業生産性の向上が図られる。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	小排水路	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 小排水路全延長	単位	m
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・振興局との協議 ・水路改修工事  23年度計画(23年度に計画している主な活動) ・振興局との協議 ・水路改修工事	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 小排水路の改善延長	単位	m
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	劣化した小排水路の機能を改善する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 小排水路の改善済み全延長 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	m
				B. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
				C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	生産性の向上が図られる 生活環境の改善が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	水田面積(単位:ha) 畑地面積(単位:ha) 樹園地面積(単位:ha) 民有林面積(単位:ha)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	小排水路全延長	m	0	110.5	440.7	531.3	214.8		23年度 856.6
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	小排水路の改善延長	m	0	110.5	440.7	531.3	214.8		23年度 856.6
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	小排水路の改善済み全延長	m	0	110.5	440.7	531.3	214.8		23年度 856.6
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	0	708	2,825	2,825	1,250	0	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	708	2,825	2,825	1,250	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	0	708	2,825	2,825	1,250	0	*****
	延べ業務時間数	時間	6	18	24	24	24		*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	24	72	96	96	96	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	24	780	2,921	2,921	1,346	0	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 施設を補修することにより、機能が改善され農業生産の向上が期待される。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市が関与する公共性の高い事業である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 老朽化施設に限定している。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 劣化した施設について対象としており、妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 事業費が多ければ効果があがるが、事業費の確保は難しい。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 農業生産向上に支障となる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 土地改良施設維持管理適正化事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 事業主体が県営と団体営で異なる。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 県営事業であり、応分の負担が必要である。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 打合せ等に要する時間であり、削減できない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 広域的に利用されている水路機能を維持するものであるため。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 県が設置した水路であることから現状の費用負担で適正である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること  ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)
------------	---

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ② 有効性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り, 反省点) 施設の維持管理に必要な事業である。
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	
		
方向付けの理由と改革改善の内容 施設の老朽化に対応する事業であることから継続し、23年度で終了を予定している。		